

# 国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 研修名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | エンデラン大学・オンライン【春季】 |
| オンラインプログラムを選択した理由、参加目的について記載してください。(100～200 字程度)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                   |
| <p>4 月から大学 4 年生となり、大学院進学を見据える中で、研究室訪問や進学準備との両立を考えると、海外渡航を伴う留学よりも、国内から参加できるオンライン形式の方が自分に適していると判断しました。また、これまで個人的に英会話の授業を受けていましたが、大学での学業との両立の都合上、十分な時間を確保することが難しく、英語を話す機会が限られていることを課題に感じていました。さらに、英語でコミュニケーションを行う上では、自分の伝えたい内容を相手に正確に届けることが重要であり、そのためには発音やアクセントを基礎から学ぶ必要があると考えていました。以上の理由から、発話力の向上とアクセント学習の両方に取り組むことができる本プログラムは、自身の目的に合致していると考え、受講を決意しました。</p>                                                                                                                           |                   |
| プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(200～300 字程度)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                   |
| <p>パーソナルレッスンでは、アクセントトレーニングに加え、日常生活からビジネス場面に至るまで、自身の経験や考えを英語で表現する練習を行いました。アクセントトレーニングでは、各音を発音する際に使う口や舌などの器官の動きや、子音グループごとの発音の仕組みについて学び、発音を感覚ではなく仕組みとして理解できるようになりました。また、グループレッスンでは、日常生活に関わるさまざまな場面を想定した対話練習を行い、他の受講生とのやり取りを通して、実践的な英会話力を養うことができました。ソーシャルアクティビティでは、多様なテーマについて英語で意見を述べる訓練を行い、英語力の向上だけでなく、自分自身の考えや価値観を見つめ直す機会にもなりました。このように、本プログラムを通して、発音・会話・意見表現の各面から総合的に英語力を高めることができたと感じています。</p>                                                                                          |                   |
| オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(200～300 字程度)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                   |
| <p>オンラインプログラムでのメリットとしては、自身の日常生活のリズムを崩すことなく留学の体験を行うことが出来る点であると考えます。授業が終了する時間は日中であるためにバイトなどを生活の中に組み込むことが出来ると思います。また、渡航費や渡航先での生活費などのコストを抑えることが出来るために、学生であっても自身で参加費を出すことが出来る点にあると考えます。また、英語力を向上することが出来る点であると考えました。デメリットとしては、現地の文化を実際に体験することが出来ない点であると考えます。食事や現地での慣習などに触れることは、自身の文化との差異についてを痛感することが出来る考えるためにメリットは大きいように感じます。</p>                                                                                                                                                           |                   |
| オンライン授業への臨み方（時差・コミュニケーション）としてモチベーションアップ等に役立ったことを記載してください。(200～300 字程度)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                   |
| <p>授業はすべて英語で行われるため、内容をその場で正確に理解することが難しい場面もありました。そのような時には、自分の理解が正しいかを確認しながら授業に参加することを意識しました。特に、一度聞いた内容を自分の言葉で言い換えてみることで理解が深まり、受け身ではなく主体的に授業に取り組む姿勢につながったと感じています。また、うまく説明できない場合には、具体例を挙げて伝えることを意識することで、英語でも考えを表現しやすくなりました。講師の先生方は、こちらが言いたいことを最後まで伝えられるよう丁寧に待ってくださったため、必要に応じて辞書や翻訳ツールを活用しながら、内容理解と発言の両方に取り組むことができました。モチベーション維持の面では、授業中にうまく答えられなかった表現や新しく学んだ言い回しを簡単にメモし、次の授業で意識的に使うようにしていました。前回できなかったことが次にできるようになると、自分の成長を実感することができ、それが継続的な学習意欲につながりました。</p>                              |                   |
| 今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250～300 字程度)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                   |
| <p>本プログラムへの参加を通して、当初の目標であった正しいアクセントの習得について、基礎的な感覚を身につけることができました。今後は、この感覚を定着させるためにも、継続して英会話学習に取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>一方で、自身の英語については、単調に聞こえやすく、アクセントや抑揚が不足しているという課題も明確になりました。今後は、文章全体の中で強弱やリズムを意識した話し方ができるよう、英語のスピーチ動画などを参考にしながら、自分でも再現できるまで練習を重ねたいです。</p> <p>プログラム参加前は、英語を話すことに対して自信がありませんでした。しかし、プログラム中にフィリピン人講師の方々が熱心かつ親身に耳を傾けてくださったことで、「英語でも自分の考えを伝えられる」という実感を持つことができました。</p> <p>その経験を通じて、英語で自分の意見を伝えることの楽しさを知ることができたため、今後はより自然な英語で自分の考えを表現できるようになることを目標に、引き続き学習に励みたいと考えています。</p> |                   |